

人文論叢

三重大学人文学部文化学科研究紀要

第 6 号

目 次

論説

- 漱石とジェーン・オースティン(2)……………福尾 芳昭(1～ 17)
- Chaucerの“hous”及びその類義語の用法について(英文)……………地村 彰之(19～ 39)
- 特に *Troilus and Criseyde* を中心として——
- “My Kinsman, Major Molineux”と Hawthorne の「行列」への関心……………小田 敦子(41～ 48)
- 「詩学」の《平準化》,あるいは「平準化」の《詩学》……………赤岩 隆(49～ 64)
- ‘Linguistic Criticism’からの挑戦
- ブレヒトの『はいという人』と『いいえという人』について……………友永輝比古(65～ 68)
- 『賢者ナータン』の三つの指輪の話に表れたレッシングの思想(その一) ……太田 伸広(69～ 82)
- カスナーにおける批評の基準と意義……………大河内朋子(83～ 88)
- 『神秘主義, 芸術家そして生』について——
- ルソーの想像力の領域に関するノート……………川那部保明(89～ 94)
- 近世後期に近畿・東海地方に影響を及ぼした台風……………水越 允治(95～104)
- 勇者の誕生……………濱 森太郎(一～ 三)
- 『走れメロス』小論——

研究ノート

- 「ソフィア」をめぐる湖畔の対話……………松井 良和(五～ 六)
- I－命題の記号化について(英文)……………山岡 悦郎(105～106)
- 生協の組織内コミュニケーション……………碓井 崧(107～122)
- 灘神戸生協の組織社会学的研究(その2)——